

会議録

会議の名称	第3回加東市地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成28年3月9日（水）午後1時30分～午後3時20分
開催場所	加東市役所 3階 301・302会議室
議長の氏名（会長 土井 勉）	
出席及び欠席委員の氏名	
<出席委員> ・谷舗 尚彦 ・小谷 陽亮 ・為広 誠（代理） ・太田 吉哉 ・岸部 憲二 ・山本 弘 ・岸本 吉晴 ・大西 英彦 ・友藤 富士子 ・岸本 吉博 ・高瀬 菜美 ・竹内 圭一 ・芹生 修一 ・中村 隆文 ・小林 吉人 ・田中 和美 <欠席委員> ・中澤 秀明 ・細見 浩司 ・清水 俊博 ・竹内 敏郎 ・芹生 昇 ・吉本 剛典 ・兒山 真也 ・橋本 匡史 ・吉村 進吾 <オブザーバー> ・兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	
・協働部企画協働課長 長谷川 茂 ・協働部企画協働課副課長 前中 公和 ・協働部企画協働課主幹 三和田 剛浩	
1 議題 ・報告事項 市民ワークショップ開催結果等について ・協議事項 加東市地域公共交通網形成計画策定スケジュールおよび計画の方向性について 2 会議資料 ・加東市の公共交通について考える市民ワークショップの開催結果について ・加東市民の交通行動に関するアンケート ・加東市地域公共交通網形成計画策定スケジュール ・加東市地域公共交通網形成計画の方向性について 3 会議の経過 ⇒別紙「第3回加東市地域公共交通活性化協議会・会議の経過」のとおり	
会長 土井 勉 副会長 大西 英彦	

(別紙) 第3回加東市地域公共交通活性化協議会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
会長	<p>1 開会 事務局 2 報告 加東市の公共交通について考える市民ワークショップ開催結果等について事務局より説明</p> <p>【質疑応答等】 参加者の方は公共交通を利用していない人ばかりだったが、実際利用している人の意見はどうするかを検討しては。 7割の人が車を運転しているが、残り3割の人は車を自由に使うことができない。この人たちのことを考えないといけない。 3割というのは他市と同様。 家族に送ってもらっている方が多いが、病院ならともかく、遊びに行くのに家族の送迎はしてもらいにくいので、外出を控えているという潜在的な部分もサポートしていく必要がある。他にわかることなどがあれば補足してほしい。</p>
事務局	<p>地区の方へのヒアリングを行った中で、実際に公共交通しか移動手段はないという方の声を聞いた。したがって、運転をされていない3割の方の移動手段をどうするかは計画の中でも重要であると認識している。 問5の移動手段を聞くとさらに自家用車比率が多い。目的ごとに調べると、自家用車または家族の車というのが7割よりも多くなっている状況である。 今後もう少し詳細に分析し、次回等で説明させていただきたい。</p>
会長	<p>車を運転していない人の交通行動の頻度はどうかなど、あまり集計を複雑にするよりは、ポイントを絞って分析しては。</p>
委員	<p>私は普段は車を運転していて、公共交通機関を利用していないが、もう数年後には運転できなくなる。しかし、現状ではすぐに利用できる交通手段はないのでたちまち困ることになる。お互いに考えていかなければいけない。</p>
	<p>3 協議 加東市地域公共交通網形成計画策定スケジュールおよび計画の方向性について事務局より説明</p>
委員	<p>【質疑応答等】 P14の課題の中で、経済性を考える記述がなかった。 P11ではバスの補助等を書いているので、それが必要ではないか。</p>
事務局	<p>行政の負担が増大していくのは課題であるので、課題の中に入れていく方向で考えたい。</p>
会長	<p>予算の関係は大変大事であるので、サービスを上げることと同時に考えていかなければならない。</p>
委員	<p>国勢調査で人口が増えたのは大変喜ばしいことである。しかし、資料を見ていて素晴らしいことが活字では書かれているが、なかなか現実として事業が進まないような実感がある。</p>
会長	<p>これについては、今後、計画の中で具体的な事業について、そのスケジュールを示したり、評価指標を設けて評価していくことが必要になってくる。</p>
オブザーバー	<p>計画期間はこれからとのことだが、まず取り組む内容によって、短期的なことと中長期的なことにわかれてくる。総合戦略の中で、まちづくりと観光振興について書かれているが、指針1に「まちづくり」という書き方があるので、その中に観光振興を含めていってはどうか。</p>
事務局	<p>加東市の総合戦略は平成29年までの3カ年としている。これは加東市総合計画の終期と合わせているからであるが、交通の計画もそれらを含めて考えていく。短期的・中長期的も含めて計画期間をこの協議会で決めていきたい。</p>
委員	<p>他市では免許返納者に対する優遇措置があるが、今後そういう計画はないか？ また、定住という話があったが、利用者を増やして、本数を増やしていくとつながっていく。趣旨の中に、定住ということを入れてはどうか。</p>
事務局	<p>免許返納については、まず、公共交通機関を乗っていただくというのが大事であ</p>

	<p>る。その利用者を増やしていく中で、そういった需要があれば考えていきたいと思う。</p> <p>また、既存の幹線を活性化することがまず大事であるので、それを利用していただくということを計画にはしっかり載せていく必要がある。</p> <p>課題の4にあるように、ハイウェイバスでもう少し遅い時間帯の便をとという要望もしているので、今後も事業者と調整を行っていきたい。</p> <p>交通事業者の方々もこういう協議の場に出てきていただいているが、今後計画を進める中で、はたして市の意見を聞いていただけるのか不安。</p> <p>バス事業者については路線の見直し、タクシー事業者はいろいろな方法に協力をいただけるのか、鉄道事業者については、乗継の方のための総合的な時刻表等を作成するなどご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>他の自治体でもまちづくりを踏まえた内容に取り組んでいるので、ぜひ協力したいと考えている。</p>
委員	<p>アンケートの中で、市民の費用負担が安い方が良いとあり、その点ではタクシーは非常に苦しい。そんな中で、福祉タクシー事業を拡充するという考え方もあり、またデマンドやワゴンタイプの運行というのはタクシーの担える部分なので、できる限り協力していきたい。</p>
委員	<p>タクシーとしては、現在、白タクシーが増えてきている現状があり、きちんと交通網を整備すればこういう事実も減ってくるのではと考える。</p>
委員	<p>JR加古川線などで、すぐに30分一本や乗車時間を減らすなどの要望は、なかなかすぐには実現はできない。乗降人数が増えていないのに本数を増やすわけにはいかないが、できるかぎり協力したい。</p>
会長	<p>利用者が増えないとサービスが上がらないのか、サービスを上げないと利用者が増えないのか。これははっきりしていて、答えはサービスを上げないと利用客は増えない。だから例えば同じようなコストでどのようなサービスを上げられるかを検討。交通網の網とはひとつの路線ではなく、それぞれの事業者といろいろなものが合わさって出来てくる。事業者同士が連携することが必要である。</p>
委員	<p>資料を読むと、全てそのとおりである。ただ、課題にしても対策にしても、全て並列で記述されている。</p> <p>ビジョン・プランを実現するためのものと、実際の生活者を救う意味での対策があるので、整理が必要である。</p> <p>これは地区ですべきことなど。市外とのネットワークというのは長期的、交通弱者を救うのは短期的。加東市として何をまずやらなければいけないのかが必要で、それがなければ難しいで終わってしまう。</p>
事務局	<p>優先的に何をやっていくのか、大変大事であるので、今後のこの協議会でもぜひご議論いただきたいと思う。</p>
会長	<p>ここで今後みなさんから、何が大事なのかをご議論いただきたい。</p> <p>高齢者は短い距離を日常使われるので、それをカバーする仕組みが必要ではないか。まずモデルケースを作るなど。</p>
委員	<p>小中一貫校について書かれているが、平成33年の東条地域の開校に向けてとりかかるとのことだが、教育委員会が平成28年から準備委員会が始まるが、その準備委員会のプランニングに参入されてはどうか。今から計画では遅いのではないか。</p>
事務局	<p>地域の方と今後協議していくが、その部分については教育委員会と協働部と部署は違うが、連携をとって進めていきたいと考えている。</p>
会長	<p>病院への送迎もスクールバスもある意味コミュニティバスであるが、スクールバスについては、一般混乗型もあるので、それも含めて検討してはどうか。今後の議論である。</p>
委員	<p>いろいろな素晴らしいことをされているが、知らなかったということがあるので、告知の仕方にもっと力を入れていただけたら。</p>
会長	<p>一番の告知は口コミである。実際に乗ってみるなどの地域の方がいろいろ取り組んでいただければと思う。</p>
	<p>4 閉会</p>